



「夫のケニアへの思いを継いで」

森下理香

亡き夫森下高行は、エイズの研究で1999年9月から半年間、当時コロンビア大学の稲田頼太郎先生のもとに留学したのをきっかけに、亡くなる前年の2007年までILFARのアフリカ・ケニア、ナイロビのプムワニ村における無料医療キャンプに参加していました。初めは、アフリカの大自然に驚愕したことや楽しかったことを話していましたが、エイズの罹患率や母子感染のことなど、少しずつ現地の方々の悲惨さや現状についても教えてくれました。キャンプの様子を撮影したビデオ、写真の中の夫は、検査の仕事に緊張した面持ちで、真剣に取り組んでいます。そして、毎年キャンプに参加する度にケニアへの思いが強くなり、定年退職したらケニアに居住しボランティア活動をしたいと話さようになっていました。特に現地の子供たちのことを気にかけており、エイズ陽性の幼い子がいることにとっても心を痛めていました。キャンプ出発が近づくと子供たちのためにキャンディーを用意し、家では風船アートで犬やキリンを作る練習をするなど何かしてあげたい気持ちで一杯だったと思います。風船アートの様子は娘の携帯に音声とともに大事に残されています。また現地の方の生計のためにと、お土産をたくさん買って少しでも役に立ちたいと思っていたようです。

2007年、最後のキャンプではホテルで食事を作り、参加した皆さんに喜んでいただいたことをうれしそうに話していました。メニューの一つは我家の定番料理です。帰宅するなり次のキャンプのメニューを考えていましたが、その数カ月後入院し、永遠にキャンプに参加できなくなり、ケニア居住の夢は叶いませんでした。多くを語り合うことはなくても、ケニアへの熱い思いは十分に理解していましたので、2009年に理事就任のお話をいただいた時、夫の遺志を継ぐことが供養かなと思ってお引き受けしました。私なりに考え務めて参りましたが、いまだ理事としては力不足でお役に立てず申し訳ございません。夫のような活動はできませんが、できる限り務めを果たしますので今後ともよろしくお願い致します。

いつかは娘と一緒に、夫が何をみつめ何を考えていたのかアフリカの大地に立ちたいと思っています。右は家族が一番好きな写真で私たちを見守ってくれています。(2003年キャンプ)



最後になりましたが、生前、夫のことを支えて下さった多くの方々にあらためて感謝致します。ありがとうございました。

活動報告

*モリコロ基金 展開期活動助成金交付 決定！

(平成 23 年度公益信託愛・地球博開催地域社会貢献活動基金)

昨年 10 月、医療キャンプ終了後助成金申請を経て今年 3 月 4 日に助成金交付決定通知書を受領。

助成金交付金額：960,000 円



* NPO フェスタなごや



* アースデー飛騨高山 2011 ブース出展

活動予定

*サマセミ 2011 WADN企画「愛と性と生の講座」

開催日：7月16日～18日(祝)

会 場：東海中学校・東海高等学校

当NPOは **7月18日 13:10～14:30、「ケニアの医療・教育事情」の講座を受け持ちます！**

ご来場をお待ちしています！

11.9月ケニア渡航予定

- ・9月15日 23:20 日本(関空)出国
- ・9月16日 15:00 頃ナイロビ到着⇒国内線乗り換え 19:00 頃キスム到着
陸路にて 21:00 頃キシ(医療キャンプ宿泊地)到着
- ・9月17日～21日 Gem EAST 村 無料医療活動
- ・9月22日 キスム市内の孤児院訪問予定・夕刻、空路にてナイロビへ
- ・9月23日 ナイロビ、コロゴッチョスラム医療活動、神戸俊平先生と懇談
- ・9月24日 ナイロビ在住公文先生、宮田さんとの懇談後、帰国の途へ
- ・9月25日 17:20 日本(関空)帰国

*インターネットで以下の緯度と経度を入力し Gem EAST 村をご覧ください！

ナイロビ⇒キスム⇒キシ⇒ゲム村の位置関係が確認いただけます。

緯度：-0.6333333 経度 34.56666



文房具提供のお願い

アフリカの恵まれない子供たちに文房具を

私ども、特定非営利活動法人 アフリカ支援 アサンテ ナゴヤはアフリカの貧しい地域の人々の医療支援・教育支援・自立支援など幅広く支援しております。

「アサンテ」とはスワヒリ語で「ありがとう」という意味です。



私たちは、毎年9月に10日間ほどの日程で、医師や看護師、薬剤師、鍼灸師の方々と医療チームを組み、ケニア奥地の無医村で医療キャンプを設け、現地の皆さんに無料医療活動をしています。

今年は9月15日～25日まで出かけ、ナイロビのスラム地区も訪問する予定です。その際に現地の子供たちに文房具を持って行ってあげようと考えています。

皆様にお願いがあります。使われずに眠っている文房具がありましたら、ご提供ください。

ケニアの農村やスラム地区に住む子供たちには文房具がとても不足しています。皆様の善意をケニアまで運ばせていただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

鉛筆（クロ、色）、鉛筆削り、消しゴム、ボールペン、マーカー、のり、定規、ノートなど

8月末まで集めていますので、下記にお送りくださるか、お届けいただけると幸いです。

平成23年6月

特定非営利活動法人 アフリカ支援 アサンテ ナゴヤ
事務局

〒461-0004 名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル906号

TEL/FAX 052-933-1588

E-mail africa@asante-nagoya.com

URL : <http://asante-nagoya.com>

善意の皆様との繋がりに感謝

石川 佳子

いつも私共、NPO 法人アサンテ ナゴヤに温かいご支援をいただきありがとうございます。ごさいます。

支えてくださっている皆様方と私共とを繋ぐ大切な役割を果たしてくれているのが、このニュースレターです。ニュースレターを楽しみにしてくださっている方々もおいでのことと思います。読んでいただき、心より感謝致します。

3月11日に発災しました東日本大震災をキッカケに、私達は、エネルギー問題など日本の今後のあり方や個人個人の価値観を考えさせられると共に、他者を思いやる人々の心の繋がりがより一層深くなったように思います。これは日本ばかりではなく、全世界を包む現象です。

大津波災害が報じられるとすぐに、私共アサンテ ナゴヤにも、ケニアの提携 NGO の仲間から心配のメールが届きました。また、ナイロビのスラム地区にあるマゴソスクールの子供たちは、日本の皆さんに向け you-tube に祈りの歌を届けてくれました。

私共は、一宮中ライオンズクラブや国際ソロプチミスト名古屋-中の皆様には、協力団体として大変お世話になっております。6月24日に国際ソロプチミスト名古屋-中のチャリティコンサート&東北地方応援バザーが開催され、その収益金を私共アサンテ ナゴヤと、中部日本放送の社会事業部を通して、東日本大震災の被災地への支援金としてご寄付いただきました。いただきましたご寄付は、私共が遂行する事業で、大切に使用させていただきます。紙面上で失礼とは存じますが、心よりお礼申し上げます。



私共は、今年もまた9月15日～25日まで、ケニアの無医地区にて無料医療キャンプの実施を予定しております。このキャンプも皆様方の善意の繋がりで実施できるものです。皆様に心より感謝致しております。今回の医療キャンプには、昨年よりも多くの方々が参加して下さることとなりました。キャンプの様子は次号のニュースレターにてお伝えさせていただきます。

今後とも当 NPO への温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

* 会費、賛助会費、協賛金をいただいた企業・団体および個人（敬称略）

（平成 22 年 12 月 4 日から平成 23 年 6 月 30 日までにお志を賜った方を掲載しています。）

川田初美・新津典子・野々山洋子・坂光信夫・服部敬司・富田道・福井玲子・山内礼子・松原夫佐子
岩崎成子・瀧本陽子・百合草宮子・杉江修治・(株)金太郎代表取締役 西川毅・光川千鶴子・榊原一良
稲垣真一郎・稲垣絵美・てらじま美容室・鍼灸 A O I ・有松診療所・高村幸子・岩崎奈美
国際ソロプチミスト名古屋-中

平成 22 年 10 月 1 日から年 6 月 30 日まで合計で 1,501,057 円のご支援を賜りました。